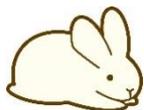




新年、あけましておめでとうございます

みんなの笑顔とたくさんの「ありがとう」のため、今年も力一杯頑張ります



燕北小学校教職員一同

新しい年がスタートしました。

今年は『癸卯（みずのと）』の年です。『癸（みずのと）』は生命の終わり、そして新たな命が始まる「春の手前」を意味するそうです。そして、『卯（う）』はウサギが跳ねるように、大きなステップを踏み出したり、草木の芽吹いたりする様子を表しているそうです。

つまり今年は、新しいことを始めるのに適していたり、これまでの実績を踏まえ、勢いよく飛躍していったりする年なのです。一人一人がさらに大きく成長できることを心から願っています。

さて、お正月の我が家の恒例行事の1つに、元旦の夜に親戚が集まり食事をしながら、テレビ朝日系バラエティ番組『芸能人格付けチェック』を見るというものがあります。特に今年は、過去に13回参戦して、個人65連勝中だったミュージシャンのGACKTさんが、2年ぶりに同番組に復帰するという事で、注目が高まりました。そんな中、全てのチェックをクリアし、連勝記録を71に伸ばしたことで、大変盛り上がりました。

このGACKTさんがあらゆる問題に対して、まるで全能であるかのように正解を導き出すことについて、番組の演出ではないかという声がよく出ます。私自身もそう思いながら番組を見たことがかつてはありました。

これに対して、ネットニュースにGACKTさんがこの疑問に答えるようなインタビュー記事が掲載されていました。ある書籍の編集担当者が「なぜ、GACKTさんは正解が続けられるのですか。」と質問したところ、次のように応えたそうです。

【ボクだって分からないことだってあるよ。ただ、分からないで諦めるのではなく、分からなければ、出題者の傾向や、分からない中でもその場で見極められる情報から推測していく。出題者も人間だからね。心理戦とも言える。GACKTが勝負に負けるわけにはいかないだろう。そして、その年に苦戦した問題に関しては、そこから1年かけて徹底的に勉強するんだよ。】

『癸卯』の年。これまで続けてきたことを飛躍させたり、新しいことにチャレンジしたりするためには、このGACKTさんのような、大きな自信や粘り強さや、そして徹底的に準備する気概は参考になります。みんなが羽ばたける年でありたいですね。

（文責：校長）



地域の方が作成した門松

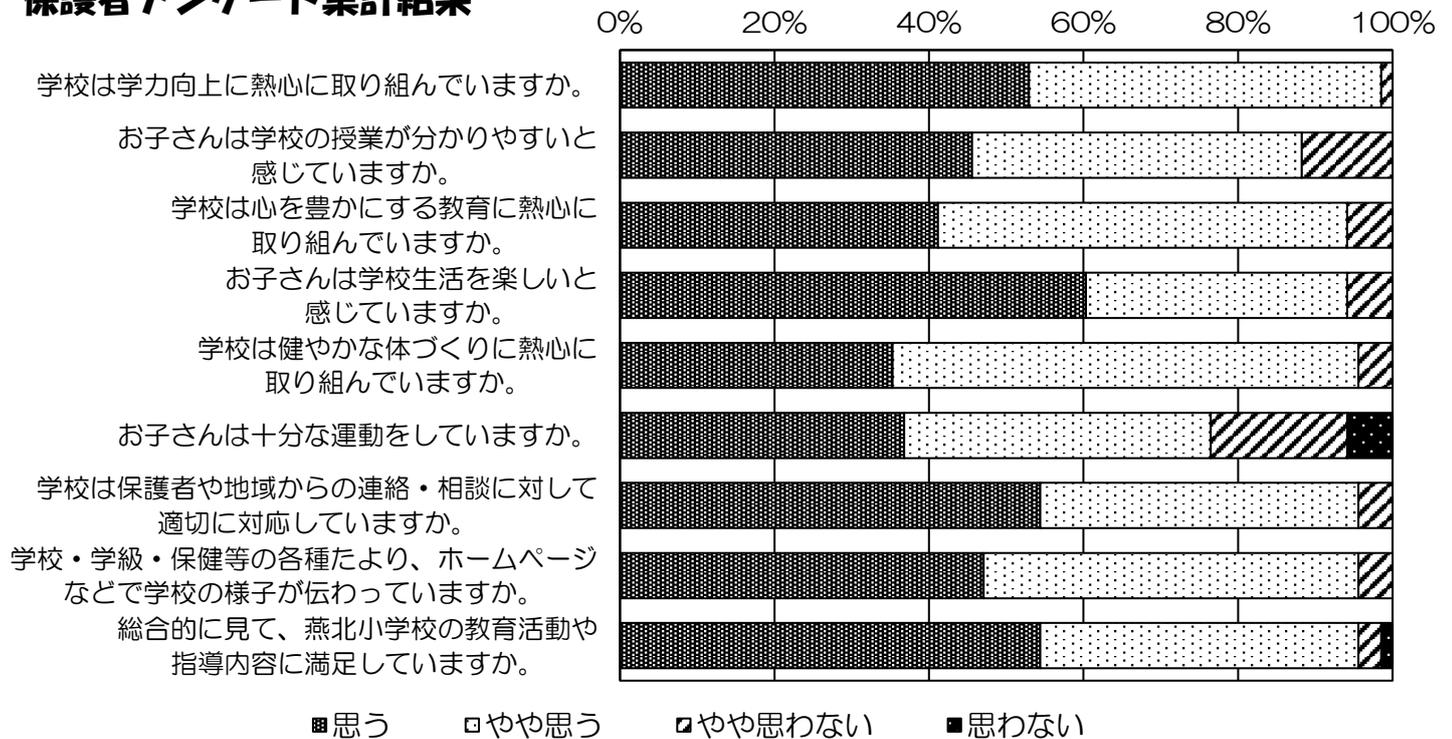
令和4年度 燕北小学校 学校評価結果

	目 標	評 価	具体的方策
学びをきたえる	(1) 国・算のワークテストで、80点以上の児童を85%以上にする。	国語 A 90.0% 算数 A 86.8%	<ul style="list-style-type: none"> 授業→プレテスト→補充指導→ワークテスト→補充指導のサイクルを徹底する。 パワーアップタイムを活用して、苦手な子どもへの支援を含めた補充指導を行う。
	(2) ステップアップ旬間で各学年の目標時間を達成できた児童を80%以上にする。	A 89.8% 前期:89.2% 後期:90.5%	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の目標である「学年×10分×7日間」以上を意識付けて取り組ませる。 計画的に進められるように、旬間中に学習予定を立てられるカードを作成する。
	(3) 「文をよく読んで、書かれていることについてよく考えた」と評価する児童を80%以上にする。	A 92.0% 前期:90.1% 後期:94.1%	<ul style="list-style-type: none"> 校内研修テーマに沿った授業改善を行う。 授業研究を実施し、授業改善の日常化を図る。 児童アンケート・教師アンケートを実施する。
心をたがやす	(1) Q-U検査の結果において、学級生活満足群に該当する児童の割合を学級全体の80%以上にする。	A 82.5% 前期:80.6% 後期:84.4%	<ul style="list-style-type: none"> 児童理解のための各種アンケートと教育相談週間を定期的・計画的に実施する。 職員研修や子どもの様子を伝達し合う場を計画的に設け職員の意識向上や共通理解を図る。
	(2) みんなの気持ちを考えた言葉遣いや行動ができる児童の割合を90%以上にする。	B 88.8% 前期:86.8% 後期:90.8%	<ul style="list-style-type: none"> 学年・場に応じた言葉遣いやあいさつのモデルについて、継続して指導する。 児童会と連携したいじめ見逃しゼロスクール集会を年2回実施し、いじめ見逃しゼロに取り組む姿勢を全校で確認する。 道徳授業の充実を図り、授業改善を行うとともに、学習参観の中で年1回以上道徳の授業の公開を行う。
	(3) 廊下歩行など安心して過ごすためのきまりを守ることができる児童の割合を90%以上にする。	B 89.6% 前期:88.4% 後期:90.8%	<ul style="list-style-type: none"> 廊下歩行など安心して過ごすための学校のきまりについて、月ごとの生活目標をもとに、発達段階に合わせて指導する。 生活アンケートを使って、自分の生活について定期的に振り返る機会を設ける。 日々の生活指導諸課題について、発達段階や現状に合わせて、適宜指導支援を行う。
健康をつくる	(1) 運動が好きという児童、めあてをもって運動に取り組む児童をそれぞれ85%以上にする。	A 92.9% 運動好き:90.4% めあて:95.4%	<ul style="list-style-type: none"> 「体力づくりハンドブック」やタブレット等を活用して、「体力が向上する」「考える」「楽しい」のバランスのとれた体育授業を意識して指導を行う。 体育の学習カードを活用し、めあてや目標をもたせて指導し、それに対する振り返りをさせる。
	(2) 秋の体力テストのときのシャトルランの記録が、春のときよりも4回以上伸びる児童を70%以上にする。	C 28.4%	<ul style="list-style-type: none"> 体育の授業（準備運動含む）で、体育部の推奨する持久力を養う運動を発達段階に合わせて取り入れる。 年間を通して、時期ごとに体力づくりに向けた取組を行う。
	(3) 家族と決めた就寝時刻を守る児童（7日中5日以上）を70%以上にする。	B 67.1% 前期:70.2% 後期:63.8%	<ul style="list-style-type: none"> アンケートをもとに生活習慣の改善のためのメディアコントロールの指導を行う。 生活習慣の改善に関する便りを発行するとともに、学級懇談会などの機会を通して家庭との連携や啓発を行う。 慢性的に睡眠不足の児童との個別の健康相談を実施する。

各プロジェクトによる振り返り

学びをきたえる	<p>確かな学力については、数値目標を達成することができた。具体的方策を今後も継続していく。ただ、個人差が大きいことが課題となっている。分からないで困っている子を作らないよう、「つまづき」を早期に発見し、補充指導を充実させていく。家庭学習については、ほとんどの学年で80%を超えていて、現在の取組がうまくいっていると思われる。ステップアップ旬間以外でも家庭学習が習慣化できるようにすること、固定化しつつある目標に達しない子への支援が今後の課題である。読解力の向上については、多くの子どもが肯定的評価をしている。文章の読み取りについての意識が一定程度高まっていると言えるが、評価の基準ははっきりしていないこともあり、実態と合わない場合も少なくない。評価の在り方を検討していく。</p>
心をたがやす	<p>Q-U検査「学級生活満足群」については、数値目標を達成する結果になった。ただ、数値や結果には表れない、子ども一人一人の状況を把握するために、今後も教育相談、アンケートを適宜実施していくことで、悩みや困り感を表出させたり、トラブルを早期に解決したりしていく。また、言葉遣い・きまりの遵守については、わずかに目標達成に手が届かなかった。月の生活目標に設定するなどして今後も学級での働き掛け、全校への働き掛けを続けていくとともに、できたことを認めることで子ども一人一人の自己肯定感を高めるような言葉掛けを大切にしていく。子どもたちが安心して学校生活を送れるように、全校体制で問題解決を行っていく。</p>
健康をつくる	<p>めあてをもって運動に取り組むということについて、ある程度習慣化されてきたと感じる。今後も学習カード等を活用して、めあてを立てて運動を行い、振り返りをするとともに、計画的に行っていく。体力の向上については、目標値を大きく下回った。マラソン記録会に向けた練習だけでなく、1時間1時間の体育の授業など恒常的な取組が不十分であった。また、家庭での運動習慣につながる働き掛けも十分ではなかった。運動に対するめあてが、もう1ランク高い目標となり、より広範的なものになるよう、働き掛けを行っていく。感染症対策に配慮しながらも、体育の授業などを通して、運動量の確保と運動習慣の改善に引き続き取り組んでいく。眠育については、普段の生活から自分自身で入眠時刻やメディア時間をコントロールできるように、子どもの意欲を高める継続的な指導を行っていく必要がある。</p>

保護者アンケート集計結果



ほとんどの項目で90%前後の肯定的な評価をいただきました。それでも、約1割の方が、「お子さんの様子から授業が分かりやすいと思えない」、約2割の方が、「十分な運動ができていない」と評価されています。学力向上は、県の掲げる学校教育の重点の最も重要なポイントの一つとしています。授業が分かりやすいという言葉は「受け身」の状態だけでなく、子どもたちが「主体的」「対話的」で「深い学び」になっていくよう、授業改善に努めていきます。また、運動習慣については、詳細は後述いたしますが、学校での取組が家庭での運動習慣へとつながるように子どもたちに働き掛けていく必要があります。体育の授業や様々な行事の進め方を工夫していく必要性を感じました。ご協力ありがとうございました。

★ 自由記述によるご意見のうち、主なものをお知らせします。貴重なご意見をありがとうございました。

【学校行事全般について】

- 保護者の中にマナーが悪い、決まりを守らない方がいます。例えば、『行事の開場時刻より早く来て並んでいる』『授業参観の際に教室内や廊下で、保護者同士でのおしゃべりの声が授業の邪魔になっている』『駐車場へ入る時、校門の方から入ってくる(危ない)』など…。これは保護者の問題なのですが、学校のお便りやメールなどで注意事項を書いていただくと良いかと思えます。

→ 不快な思いをさせてしまい、申し訳ございませんでした。学校からのお願いの部分が不明確であった場面も多かったと反省しております。子どもたちにとってよりよい学校運営になるよう、PTA会長団と連携しながら行事の運営を行ってまいります。

【児童への指導について】

- クラスにいじめをする子がいるため、学校に行きたくないという日があります。
- 年齢に合わせて、子どもたちが授業に集中できるような内容、声掛け、働き掛けをして頂きたいと思えます。

→ 児童への指導に関して、心配な点を教えていただき、ありがとうございました。学校に行きたくないという思いをもたせたことは重く受け止め、学校全体で問題の解決に取り組んでまいります。子どもたちへの声掛けの仕方についても冬季休業中に改めて職員間で確認を行いました。子どもたちが気持ちよく教室で過ごすことができるよう、努力してまいります。

【健康をつくるについて】

- 学校内（の指導だけ）では、限りがあります。本人と家庭（学校外）での取組に関わる項目かと思
います。
- 持久力の向上は、シャトルランなど苦しい運動が多いと思いますが、楽しく取り組めるよう工夫で
きないでしょうか。

→ 体力の向上については、一見、学校以外での様子が関係する評価項目ですが、学校での取組が普段の
取組につながっているか、子どもたちへの働き掛けが十分にできているかを評価しています。運動能力
や体力の向上には、継続的な取組が重要と考えます。運動習慣の形成のためには、今年度の取組は不
十分だったと考えています。ただ、その取組が教師側から一方的に与えられるものでなく、子どもたちが
主体的に取り組めるものになるように、工夫していきます。

【その他】

- 毎朝、笑顔で登校する様子から、学校を楽しんでいます。
- いつも大変にありがとうございます。
- いつも温かいご指導をありがとうございます。
- 毎週学級だよりを欠かさず出し、学校の様子を伝えてくださり、頭が下がります。

→ 教職員の励みになるお言葉をいただきまして、誠にありがとうございました。一人でも多くの子ども
たち、保護者の皆様、地域の皆様にこのように思っただけけるよう、魅力的な教育活動を行っていき
たいと思います。お気付きの点がございましたら、いつでも学校にお知らせください。

3学期の主な行事予定

※1月20日現在の予定です。変更になる場合もございます。

1月26日（木）PTA会長団会議
2月 2日（木）スマイル長なわ集会
3日（金）学校カウンセラー来校
9日（木）1・2年生雪遊び
※1・2年生はお弁当の準備をお願いします。
新1年生保護者会
※5年生と新1年生との交流会を行います。
16日（木）町内子ども会

2月24日（金）学習参観・学年末懇談会
学年委員開票作業
3月 3日（金）6年生を送る会
20日（月）4限給食後放課
22日（水）修了式・卒業式準備
23日（木）卒業証書授与式
27日（月）離任式
※春休み：3月24日（金）～4月6日（木）

今後も感染症拡大の状況を鑑みて、実施方法の変更や入場制限などを行ったり、延期や中止を
したりする場合がございます。その際は、文書等でお知らせいたします。なお、3月23日
（木）の卒業証書授与式ですが、燕市教育委員会の指導のもと、今年度は、卒業生と卒業生保護
者のほか、1～5年生の在校生、学校職員等の関係者とで実施させていただきます。地域の皆様
からのご参加をいただくことはできませんので、あらかじめご了承ください。

～ 北っ子の活躍 ～

★第47回新潟県少年少女剣道大会小学生高学年女子の部（団体）

優勝 燕剣道連盟 剣心館スポーツ少年団 6年 女子

※ 令和5年燕市スポーツ協会優秀競技者等表彰で奨励賞を受賞しました。

